

# 質疑及び一般質問

令和4年11月29日、30日、12月2日に開催された質疑及び一般質問では、次の議員が質問を行いました。

質疑及び一般質問の映像はこちら



○質疑及び一般質問の中から一部を掲載します。

## 11月29日(火)



### ◎高校教育におけるIT人材の育成について

自由民主党 今泉 健司 (みどり市)

**Q** 「日本最先端クラスのデジタル県」を目指す本県では、高校教育におけるIT人材の育成が急務と考えますが、県教育委員会の取組の現状と課題、今後の予定について伺います。

**A** IT人材の育成は喫緊の課題であると認識しています。各学校では、1人1台パソコンやオンライン学習支援ソフトウェア等を活用したプログラミング等の教育活動に取り組んでいます。今後も教員研修の更なる充実を図るとともに、小中高のプログラミング教育の体系化等について検討し、高度情報社会に対応した教育の充実努めてまいります。



### ◎特別な支援を必要とする児童生徒への対応について

リベラル群馬 加賀谷 富士子 (伊勢崎市)

**Q** 医療的ケア等の特別な支援を必要とする児童生徒は増加傾向にあることから、市町村立学校に対する県の支援が重要と考えますがいかがでしょうか。

**A** 県教育委員会では、国に対し、看護師や特別支援教育支援員の配置にかかる経費の補助等の拡充を要望しています。また、医療的ケアを実施する市町村教育委員会に対し、研修等に関する情報提供や助言等を行っているほか、専門の相談員やアドバイザーによる学校への相談・支援に努めています。今後も引き続き、サポートの充実努めてまいります。



### ◎医療的ケア児の支援に関する知事の思いについて

自由民主党 松本 基志 (高崎市)

**Q** 医療的ケア児支援センターの設置を含め、医療的ケア児とその家族の支援充実に向けた知事の思いを伺います。

**A** 医療的ケア児とその家族の方々が、住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、保健や医療、福祉、教育、労働などの幅広い分野が、密接に連携しながら、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行うことが重要であると認識しています。「医療的ケア児支援センター」は、その役割を担うために必要な機関であり、是非とも責任を持って設置したいと考えています。



### ◎中高生の自転車事故対策について

令明 金沢 充隆 (藤岡市・多野郡)

**Q** 中高生の自転車事故防止に向けた知事の考えについて伺います。

**A** 群馬県は、高校生の通学時1万人当たり自転車事故件数が8年連続全国ワースト1位であり、非常に危機感を持っています。これまで、中高生のヘルメット着用に向けた啓発活動とともに、群馬県交通安全条例を改正し、自転車ヘルメット着用を努力義務化するなどの取組を行ってきました。

今後は、事故対策に新たな視点を取り入れるとともに、MaaS(マース)を活用した通学手段を選択できる社会を目指すなど、事故防止に向けて、更なる取組を進めてまいります。



ヘルメットを着用して通学する高校生

## 11月30日(水)



### ◎群馬の誇るべき歴史と文化の継承について

自由民主党 岸 善一郎 (高崎市)

**Q** 本県が誇る歴史と文化を、貴重な県民共有の財産として後世に引き継ぐため、その価値を知る機会が必要と考えますがいかがでしょうか。

**A** 本県には全国に誇るべき歴史と文化が数多く存在しています。「上野国分寺まつり」に参加した際には、上野国分寺が地元住民に大切にされていることを感じました。県民が郷土への誇りや愛着を持つことは重要であり、次代へ引き継がれるような様々な施策に取り組んでまいります。「ぐんま文化遺産の日」創設のご提案は、頭の片隅に置いておきます。



上野国分寺まつりの様子



### ◎男女の賃金格差解消に向けた取組について

日本共産党 酒井 宏明 (前橋市)

**Q** 労働者の賃金を底上げしていくことはもちろんですが、特に非正規雇用で働く女性の処遇改善に関して、県においても独自の取組をすべきと考えますが、いかがでしょうか。

**A** 男女の賃金格差を解消するためには、賃金の引き上げなどの直接的な働きかけだけでなく、正規雇用者として女性が働きやすい環境の整備が重要です。特に中小企業においては、人材育成や生産性の向上への取組支援を行うことで、賃金の底上げや働き方改革に繋げていくことが大切です。今後も働く女性の処遇改善を進めてまいります。



### ◎東毛ワクチン接種センターの成果と今後のオミクロン株対応ワクチン接種の進め方について

自由民主党 泉沢 信哉 (館林市)

**Q** 東毛ワクチン接種センターの成果について及び、今後のオミクロン株対応ワクチン接種をどのように進めていくのか伺います。

**A** 東毛ワクチン接種センターでは、累計で27万7千回を超える接種を行い、地域のワクチン接種に貢献しました。今後のオミクロン株対応ワクチン接種については、関係機関と連携し、市町村の接種体制を更に強化します。また、県内全域の県民が接種可能な接種加速センターを東毛地域の医療機関を中心に設置することや、商業施設等へのワクチンバスの派遣などを予定しています。



### ◎子ども医療費助成制度の拡大について

自由民主党 斉藤 優 (伊勢崎市)

**Q** 高校生世代までの医療費無料化について、知事の考えを伺います。

**A** 本県の子ども医療費助成制度は、中学校卒業までを対象とし、所得制限や自己負担がないなど、全国的にトップクラスの手厚い制度を実現しています。高校生世代まで対象を広げた場合には、更に多くの予算を毎年継続して確保していく必要があります。県政には、取り組むべき重要な課題も山積しており、高校生世代までの医療費無料化の実施については容易ではありませんが、要望を真剣に受け止め、今後よく検討してまいります。

## 12月2日(金)



### ◎今後のMaaS(マース)の見通しについて

自由民主党 高井 俊一郎 (高崎市)

**Q** 今年度は、前橋市で実装するということが重要と考えますが、県内全域へ広めていくことが重要と考えます。MaaSの今後の見通しについて伺います。

**A** MaaSの取組については、来年度以降、都市部では、前橋市での取組をベースにサービスを高度化させるとともに、山間地や観光地などでは、それぞれの地域の課題解決に向けたカスタマイズを行いながら、県内全域に展開してまいります。自家用車への過度な依存から公共交通への転換を促すことで、誰もが多様な移動手段を選択できる社会の実現を目指します。



### ◎本県への移住・定住促進について

リベラル群馬 八木田 恭之 (太田市)

**Q** 本県の移住促進の取組及びそれに対する知事の考えについて伺います。

**A** 都心までのアクセスの良さ、豊かな自然や温泉など、群馬県の持つ魅力や強みが評価され、都内の働き盛りの方々が本県への関心を高めています。テレワーカーや企業を対象に「転職なき移住」などを推進するための施策を展開し、ワーケーションマッチング相談会やオンラインセミナーなどを積極的に開催しています。今後も、本県の魅力や強みをPRしていくとともに、市町村とも連携し、オール群馬で、より多くの人を本県に呼び込んでまいります。



### ◎県立女子大の施設整備について

自由民主党 井田 泉 (佐波郡)

**Q** 学生がより快適に学べるように、建設から40年経過した女子大学の整備が必要と考えますが、現在の状況と今後の方向性について伺います。

**A** 現在の校舎等の施設設備は、全体的に老朽化が進んでいます。現在、トイレなど優先順位の高い箇所から順次改修を進めています。魅力ある大学として運営するには、教育内容の質の面はもとより、快適な学修設備や環境が不可欠です。今後も、適切かつ計画的に整備を進められるよう、大学側と緊密に連携し、しっかりと対応を検討してまいります。



県立女子大学



### ◎温泉文化のユネスコ無形文化遺産の登録への今後の展望について

自由民主党 星野 寛 (利根郡)

**Q** 今後の登録に向けてどのように取り組んでいくのか伺います。

**A** 登録に向けては多くの課題があり、決して簡単なことではありません。今後の取組として、①温泉地全体が共感するストーリーや保護措置を検討する有識者会議の設置、②知事の会から関係省庁への政策要望の実施、③「全国推進協議会」の設立への働きかけの3点を考えています。日本固有の文化「ONSEN」が、ぜひ、世界共通語となるように世界に発信していき、「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産への登録の早期実現に向けて、全力で取り組んでまいります。